

平成18年度 上半期の 財政状況をお知らせします

総務課財政係 ☎52 2112

「南富良野町財政事情の作成及び公表に関する条例」の定めにより、本年度上半期（4月1日から9月30日まで）の財政状況をお知らせします。

まちの予算規模は？

全会計の予算総額は
54億6,555万6千円

9月30日現在の一般会計予算額は38億3,361万円で、当初予算より5,013万4千円増加しています。これは、南富良野大乗会が知的障害者の就業場所として建設する通所授産施設整備に対する補助金やアスベスト除去を行う総合福祉センターボイラー室改修工事、8月の大雨による道路などの災害復旧に伴う補正を行ったためです。

また、特別会計では、当初予算に対し3,869万4千円増加し、9月30日現在の予算額は16億3,194万6千円で、一般会計と特別会計を合わせた予算総額は、54億6,555万6千円となっています。

一般会計の執行状況

収入は・・・
予算額に対して、9月30日までに収入した割合は47.9%で、中でも大きな割合を占める地方交付税は、予算額20億1,851万円に対し収入済額は14億8,830万9千円で、収入全体の8割を占めています。
また、町税の収入割合は57.1%となっており、道路整備や公営住宅建設など大きな公共事業を実施する

際の町債は、それぞれの事業が完了した後に借入れるため、9月30日までの収入はありません。

支出は・・・

公営住宅建設などの公共事業費を多く盛り込んだ土木費は、予算額5億8,954万6千円に対して支出済額は1億9,434万2千円で、支出割合は33.0%となっており、また、借金の返済に充てる公債費の支出済額は3億2,566万4千円で予算額に対する支出割合は41.6%、特別職と一般職員の給与や手当などを支出する職員費の支出済額は3億3,851万1千円で予算額に対する

特別会計の執行状況

一般会計全体では、予算額に対する支出割合が40.7%で、前年同期よりも4.7%低い割合で推移しています。
なお、各歳入歳出科目の予算額と収入済額・支出済額は【表1】のとおりです。

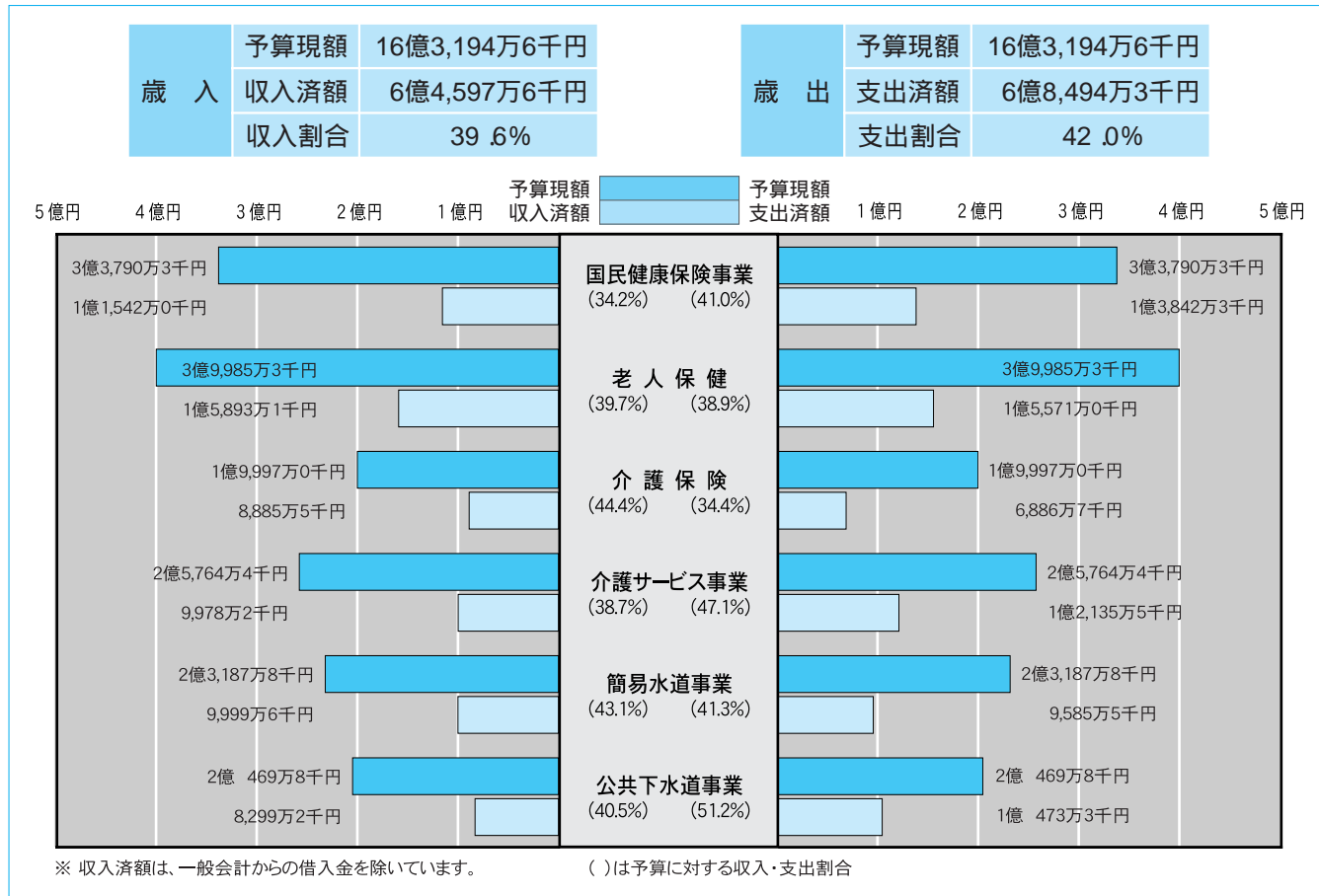
特別会計には、町民の約4割の方が加入されている国民健康保険事業特別会計や高齢者の皆さんに医療給付などを行う老人保健特別会計、介護保険事業を運営する介護保険・介護サービス事業特別会計、日常欠かさすことのできない生活用水を供給する簡易水道事業特別会計、生活排水の処理を行う公共下水道事業特別会計があります。
これら6つの特別会計を合計した歳入と歳出の予算額は、16億3,194万6千円で、これに対する収入割合は39.6%、支出割合は42.0%となっています。

なお、各特別会計の予算額と収入済額・支出済額は【表2】のとおりであり、支出済額が収入済額を上回っている国民健康保険事業特別会計と介護サービス事業特別会計、公共下水道事業特別会計では、一般会計から一時的に資金を借入れて賄っています。

町税の収入状況（9月30日現在）

税目	予算額	収入額	収入割合
町民税	8,785万9千円	4,360万5千円	49.6%
固定資産税	1億2,669万4千円	8,027万4千円	63.4%
軽自動車税	353万8千円	349万2千円	98.7%
町たばこ税	1,903万4千円	807万2千円	42.4%
鉱産税	64万3千円	23万4千円	36.4%
合計	2億3,776万8千円	1億3,567万7千円	57.1%

【表2】各特別会計予算の執行状況（9月30日現在）



【表1】一般会計予算の執行状況（9月30日現在）

